

みんなの農業

農作業メモ 水稻

四日市グリーンセンター 荒川



令和8年の水稻の準備の前に昨年の振り返りをしてみましょう。

ここ近年、特に夏場の気温が高く、お米は背白腹白粒や心白粒が出やすくなっています。また、カメムシの大量発生などによる被害もあり、等級が下がった原因の8割以上がこれらの影響です。カメムシは防除をしないと、相当な被害粒が出てしまいま

す。適期に防除を1〜2回することにより、被害粒を抑えることが出来ます。それでも被害が防ぎきれない場合は、色彩選別機を使用すると良いでしょう。ただし、防除によって被害粒を抑えることは重要なポイントで、結果的に良いお米が多くとれることにつながります。

CHECK

2等や3等となると、検査伝票に等級落ち理由として「14」など番号が書いてあります。その番号は下表の通りです。参考にご覧ください。

2	充実不足	25	茶米
3	整粒不足	26	砕粒
11	青未熟粒	31	死米
12	乳白粒	41	全面着色粒
13	心白粒	42	部分着色
14	背白腹白粒	51	粳混入
15	その他未熟	53	もち玄米混入
21	発芽粒	54	うるち玄米混入
23	芽くされ粒	90	その他
24	胴割粒		

白粒等の被害粒を減らすことができます。また、収量を増やす場合には多収性の品種を使う方法もありますが、品種によっては種もみや育苗の確保が難しく、すぐに切り替えることができないこともあります。JAみえきたとしても、高温耐性や多収性の品種の本格的な導入に向けて尽力しておりますが、まずは現状の品種であっても、品質・収量を確保できる方法を考えてみましょう。

1. 有機物の投入

稲わらや籾殻など有機物を早期にすき込むことで腐熟を促し、土が柔らかくなり根が伸びやすくなります。

8年産の水稻の準備も進んでいると思います。食味を良くし、収量を増やすために重点ポイントとして行っていたいただきたいことは次の通りです。

2. 土壌改良剤の使用

(農力アップ、ケイカルなど)

鉄分の補給は、ガスが発生するほ場を改善してくれます。

ケイ酸分の補給は、倒伏軽減や葉の過熟を抑えて高温障害対策に効果的です。また、広く深く安定した根にしていくなどの効果もあるため、ケイ酸は中干前に施用するのも良いでしょう。

3. 深耕による根域拡大

トラクターの速度を落とし、ゆっくり耕して根の張る範囲を広くしていきます(毎年徐々に深く1〜2cm程度、水持ちが悪くなる場所によってはできない場合もあります)

冬季にできる対策を行い、次年度もおいしいお米を作りましょう。

この記事に関するお問い合わせは、
宮農指導課(☎059・393・3620)まで。
資料についてのお問い合わせは、最寄りの各宮農(総合)センターまで。

